

日本脳炎（第2期）ワクチン定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。



- 1 接種期間** 9歳～13歳の誕生日の前日
- 2 標準的な接種期間** 9歳に達した時から10歳に達するまで
- 3 接種回数** 1回
- 4 接種場所** 別紙「予防接種協力医療機関」日本脳炎に○印のある医療機関
※医療機関に予約をしてから接種してください。
- 5 持ち物** 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳
- 6 費用** 無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。

7 日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。

飼育されているブタの体内で増えたウイルスが蚊（コガタアカイエカ）によって媒介され感染します。潜伏期は7～10日で、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の症状を示すウイルス性の急性脳炎です。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染した人のうち、100～1,000人に1人が脳炎を発症すると考えられています。脳炎にかかった時の致死率は約20～40%ですが、治った後に神経の後遺症を残す人が多くいます。近年は西日本の高齢者を中心に発症していますが、若年者の発症も見られます。

8 予防接種の効果

第2期の接種は、第1期の抗体のレベルを維持するために必要です。日本脳炎1期の予防接種をしていない方は3回接種（有料）をしてから2期を接種すると必要な抗体が得られます。

9 ワクチンの副反応

主な副反応は、発熱、せき、鼻水、接種部位の腫れなどです。ごくまれに、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー様症状、けいれん、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）などの重大な副反応が起こることがあります。重篤症例の発生頻度は、0.0007%です。

（令和8年2月第110回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より）